

輸送動向について(平成21年10月)

平成21年11月

1. 輸送概況

今月は、上旬に非常に強い勢力の台風18号が上陸したほか、下旬に東海道線において人身事故による輸送障害が発生し、月全体では高速貨210本、専貨14本が運休した。

荷動きについては、昨年秋口以降の世界同時不況から一年が経過し一部の業種には底打ち感が出てきているものの、需要不足に伴う生産調整の影響が続いており、月全体では低調に推移した。

コンテナ貨物は、自動車部品、積合せ貨物、紙・パルプなどの品目が生産調整の影響および上記の輸送障害に伴う運休、遅延の発生により減送となり、全体では前年比88.8%となった。

車扱貨物は、石油等が前年を上回ったものの、セメント・石灰石などが前年を下回り、全体では前年比99.4%となった。石油は、昨年の価格高騰に伴い消費が大幅に減少した反動により増送となった。一方、セメント・石灰石は、工場の生産設備の不具合および一部顧客の輸送中止により大きく減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,890	2,129	88.8%	11,696	13,684	85.5%
車扱	861	866	99.4%	5,537	5,904	93.8%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	257	297	-40	86.5%
	化学工業品	175	193	-18	90.7%
	化学薬品	135	144	-9	93.8%
	食料工業品	273	292	-19	93.5%
	紙・パルプ	275	303	-28	90.8%
	他工業品	135	162	-27	83.3%
	積合せ貨物	201	232	-31	86.6%
	自動車部品	63	79	-16	79.7%
	家電・情報機器	36	40	-4	90.0%
	エコ関連物資	31	33	-2	93.9%
	その他	309	355	-46	87.0%
	コンテナ計	1,890	2,129	-239	88.8%
車扱	石油	566	522	44	108.4%
	セメント・石灰石	104	134	-30	78.0%
	車両	91	88	3	102.7%
	その他	100	122	-22	82.2%
	車扱計	861	866	-5	99.4%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)